

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
オホーツク社会福祉専門学校		平成10年3月24日		棧 邦雄		〒090-0871 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人栗原学園		昭和44年3月31日		柏尾 秀典		〒090-0871 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
医療	医療専門課程	歯科衛生士科		平成6年文部科学省告示第84号	—																						
学科の目的	実践的能力を高めるために、地元歯科医師及び衛生士会との指導連携を深めており、歯科医師会開催セミナーなどにも学生を積極的に参加させることで質的向上を目指す。また、今重視されている予防歯科指導や小児期歯科診療への知識を深め、患者様へのプロとしての対応を学ぶ																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
	3	3089時間	1263時間	323時間	945時間		558時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
90人	31人	0人	4人	31人	35人																						
学期制度	■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験(引き、口述、論文、実技)及び、出席日数																						
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月8日～8月19日 ■冬季:12月22日～1月14日 ■学年末:3月14日～4月4日		卒業・進級条件		卒業支援及び進級試験																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的な個人面接、家庭への文書連絡等		課外活動		■課外活動の種類 歯科医院から依頼のあるボランティア 歯科衛生士会主催の研修会参加 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 歯科医院、病院		■就職指導内容 個人面接を通じて本人が目指す歯科衛生士としての目標と合致する歯科医院を選定後、受験先に合った面接指導を個別実施。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科衛生士</td> <td>②</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>社会人常識マナー検定</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科衛生士	②	22人	21人	社会人常識マナー検定	③	8人	6人								
	資格・検定名	種						受験者数	合格者数																		
歯科衛生士	②	22人	21人																								
社会人常識マナー検定	③	8人	6人																								
■卒業者数 22人 ■就職希望者数 22人 ■就職者数 21人 ■就職率 95% ■卒業者に占める就職者の割合 : 95%		■その他 ・進学者数: 0人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																							
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者40名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者38名(令和2年3月31日卒業生を含む)		■中途退学率 5%																								
	■中途退学の主な理由 結婚・妊娠、家庭環境 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面接 保護者面談 家庭訪問の実施等																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 「栗原太郎・栗原寛隆・藤田礼三基金」卒業後6年間で授業料、施設費、実習費を返還 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の利用者 1名																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	http://kurihara.ac.jp																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

「地育地活」地元で育ち地元で活躍する人材の育成を掲げ、深い愛情をもって人と接し仕事に臨むための知識や技術を身に付け、強い精神力を備え、自ら進んで誠心誠意汗をかきながら行動できる人材をめざし、そのためには企業との連携を密に、学校と企業との役割分担を明確にし、実習、講演などで新たに必要となる知識技術技能等を十分に把握、分析し、今後の授業科目の開設や授業方法の改善・工夫を行う

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会の討議事項を受け、各学科にて検討したものを学園学科長会議にて討議し、最終的に学園経営会議にて討議し、より実践的な教育課程の編成を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
棧 邦雄	学校法人栗原学園学園長 理事 オホーツク社会福祉専門学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
畠山 友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田中 由佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田村 智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
松浦 信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究会会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	③
中野 武房	学校カウンセリング研究会会長 函館大谷短期大学客員教授	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	②
高橋 正明	社会福祉法人きたみ北尽会 介護老人保健施設 緑風 事務部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	③
岡田 直美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くろみ幼稚園 園長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回

(開催日時)

第1回 令和2年 9月25日 18:00～20:00

第2回 令和3年 2月

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

予防歯科指導を推進しなければならない職種である事を、学ぶ学生自身にも十分理解させることが必要で治療のみならず心や生活のケアに目を向けられる歯科衛生士の育成が一層求められるという意見有。多くの歯科医師、歯科衛生士に教授いただいている授業の中でも学生にその必要性について指導いただいている。

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

講義・演習を基に2学年より実施している1年間の患者実習を通じて歯科衛生士として必要な知識、技能及び人間性を臨床実習を通じて身に付けさせる

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

歯科医院での施設実習実施前に実習施設担当者とは本校教員による「実習指導会議」を毎年実施し、その中で学生の達成度と評価についてのすり合わせを密に行い活かしている。また、評価として問題がある場合は実習中であっても協力実習先から連絡を頂き、問題解決について取り組む事としている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	臨床実習は履修した講義・実習によって習得した基礎的な知識や技術を理論的に整理し、歯科医療の現場において歯科衛生士の直接的な業務の実践に関わりながら、歯科予防処置、歯科診療補助、保健指導の理解を体系的に深める	朝田歯科クリニック いのこ歯科医院 いいだ歯科クリニック みやけゆう歯科医院 たかぎファミリー歯科・矯正歯科 はやぶさ矯正歯科クリニック 松浦歯科医院 菅歯科医院 南大通り歯科クリニック たんのニコニコ歯科 たねだ歯科クリニック 岡田歯科医院 竹村歯科クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員に必要な専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修を企業等との連携のもと、定期的に組織的な研修の機会を設ける。研修に当たっては、職務の一環として参加している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修は見送り

② 指導力の修得・向上のための研修等

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修は見送り

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修は見送り

② 指導力の修得・向上のための研修等

年2～3回 学園内にて、学生のメンタル面ケアや接遇について協力商社を中心に全職員対象に実施。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育活動及び学校の運営の状況について、自己評価結果に基づき学校関係者評価を行い、学校運営の改善並びに教育水準の向上に資するための対策を講じる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

歯科衛生士を目指す学生を増やすためにも、歯科助手と国家資格である歯科衛生士の業務の違いについての周知徹底努力について意見が出ると共に、歯科医院における歯科衛生士の役割や立場の確立について企業側としても継続努力する旨が確認されたので、広報活動にも協力頂いている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
棧 邦雄	学校法人栗原学園学园长 理事 オホーツク社会福祉専門学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
畠山 友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田中 由佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田村 智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
中野 武房	学校カウンセリング研究会会長 函館大谷短期大学客員教授	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	有識者
松浦 信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究会会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	実習施設
高橋 正明	社会福祉法人きたみ北尽会 介護老人保健施設 緑風 事務部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	実習施設
岡田 直美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くるみ幼稚園 園長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	関係団体
近藤 千鶴	(株)ベストミント代表取締役社長(学)栗原学園 同窓生	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	卒業生
梅原 知佐子	オホーツク社会福祉専門学校 父母協力会	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 時期10月1日

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <http://kurihara.ac.jp>⇒学校法人栗原学園ブログ⇒記事カテゴリ⇒栗原学園本部

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って、学校案内・募集要項等の印刷物、ホームページ、そして学園広報紙「Net Work」を年2回発行し情報提供を行っている。毎年、6月の学校関係者評価委員会で確認後、10月1日には公表できるようにしている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校案内 交通アクセス、
(2)各学科等の教育	・学科案内
(3)教職員	・事業報告書(抜粋)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職・進学案内 就職サポート、就職先一覧
(5)様々な教育活動・教育環境	・事業報告書(抜粋)
(6)学生の生活支援	・入学案内 各種サポート制度
(7)学生納付金・修学支援	・入学案内 学費・納入方法、学費分割納入制度
(8)学校の財務	・財務計算に関する書類
(9)学校評価	・自己点検評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://kurihara.ac.jp>⇒学校法人栗原学園ブログ⇒記事カテゴリ⇒栗原学園本部

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		臨地・臨床実習	高齢者や障がい者（児）の身体的精神的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。①老化と口腔の加齢変化について ②高齢者の全体像 ③要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について ④高齢者歯科における医療安全について ⑤器質的機能的口腔ケアについて ⑥歯科訪問診療 ⑦高齢者の摂食嚥下機能と障がいについて ⑧高齢者の摂食嚥下リハビリテーションについて⑨障がい者（児）の概要を述べる⑩障がい者（児）の前身の特徴と歯科的特徴の理解⑪障がい者（児）の歯科治療について ⑫障がい者（児）歯科における医療安全について ⑬障害者（児）の摂食嚥下障害とリハビリテーション	2・3	##	21			○		○	○		○
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
合計				1科目				945	単位時間(21		単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業出席率 前後期試験 レポートなどで判定	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	450時間

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。